



令和6年5月9日
府中市立住吉小学校
拠点校校長 木下 和紀

あっという間に桜の季節が過ぎ去り、新緑がまぶしい5月になりました。

始業式、入学式から新しい環境、新しい人間関係の中、子供たちはそれぞれ頑張ってきて、ゴールデンウィークでほっと一息ついたところでしょう。緊張はいつまでも続かないですし、緊張し続けていては参ってしまいます。この後、住吉エリア3校はどれも運動会に向けて集中していくことになり、トラブルや困ったことが出てくることが予想されます。しかし、それは学びのチャンスです。子供の気持ちに寄り添いつつ、うまくいく方法を相談していきたいと思います。

☆5月の指導☆

	基礎的指導	発展的指導
個別学習	・個に応じた指導	・ひばりに来る目的・目標決め ・個に応じた指導
グループ学習	☆キーワード「すなお」 ・感覚への気付き 「どんな感じ?(触覚)」「どんな音?(聴覚)」 「よく見よう(視覚)」 ・言葉での発信「ピクチャークイズ」 ・ソーシャルスキル 「入れて」「見せて・貸して」	・言語のやりとり「日直のスピーチ」 ・自己理解、他者理解 「ひばりに来る目的」「目標発表」 ・運動・動作の基本技能 「体カテストでの体の動かし方」 ・相談の仕方 「ペアで神経衰弱」「オリジナル〇〇を作ろう」

※この中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

☆4月の指導より☆

新しいグループになった4月、初めての環境で子供たちはいろいろな姿を見せていました。

よく聞こう「リトミック」



基礎的指導で、よく聞いて教員の指示通りに動く活動として行いました。太鼓の音を聞き分けて、歩く・小走り・スキップ・大股歩きそして動きをピタッと止めることも行います。人や物にぶつからないように進むことで周りを感じる力や自己コントロールの力も育てていく課題です。子供たちは体を動かすことが大好きです。次はどんなリズムかなと期待して待ったり、転ばずに体を止められて褒められたり。音を聞き分けられなくても、周りを見て同じように動けば大丈夫。みんながニコニコ顔でできた活動でした。

非言語コミュニケーション「たけのこニョッキ」

発展的指導で、発信することと周りの様子を見て動く活動として行いました。「たけのこ、たけのこ、ニョッキッキ!」という掛け声で始まり、「1ニョッキ」から始まり、2ニョッキ、3ニョッキと続けていきます。言う順番やタイミングは自由ですが、他の人と言うタイミングがかぶったらドボン。一人1回ニョッキが言えて全員分まで達したらゴールとなるゲームです。とても慎重でなかなか誰もニョッキを言わないグループやタイミングがかぶるごとに学んでどんどん上手になるグループがありました。初めて会った人がいても一緒に笑顔で活動できました。



《ひばりコラム①》～運動会、ホントは困っています…～



ひばり教室に来ている子供たちの多くが運動会で苦労しています。「いつになく落ち着かない」「並ばないでふらふらしている」「練習をやろうとしない」など、周りと一緒に行動できないこともあるかもしれません。傍から見ると前向きに練習していない、ふざけているように思われがちですが、実は単にふざけたいのではなく、運動の困難さ、予定変更への弱さ、感覚過敏などから、上記のように“困っている”場合が多いのです。

それを上手に言えずに不適切な行動になってしまいますが、そうなってしまう理由があるはずです。（それも思いがけない引っかけかりがいっぱいです。）まずは、子供に「どうしたの？」と話を聞いてみてください。前向きに参加するための糸口が見えてくるかもしれません。

対応に困った場合は「ひばり」にお知らせください。子供たちの思いを受け止めながら、うまくいく方法と一緒に見つけていきましょう。



お知らせ



☆指導報告書の取り扱いについて☆

今まで学期末ごとに保護者にお渡ししていた「指導報告書」について、昨年度末に小学校校長会で話し合いが行われました。指導報告書はお渡しせず、連絡帳や個人面談を充実させることで代えさせていただくということになりましたので、ご了承ください。



☆ひばりからの宿題☆

「ひばり」で学習するのは週に1～2時間、貴重な時間です。目的をもって通室してほしいと思っています。特に高学年児童には自己理解の学習としても大切なことです。4年生以上には、保護者の方と在籍校担任に自分の良いところは何か、何のためにひばりにいくのかということ話し合ってくる宿題を出しています。良いところはたくさん、学んでほしいことは一つか二つ伝えていただけるとありがたいです。お忙しい中ですが、ご協力お願いします。